

2019年2月5日

慶應義塾大学 SFC 研究所

都築電気株式会社

「顔識別技術を利用した個体識別管理」の実証実験 リテールテック JAPAN にてデモンストレーションを開始

慶應義塾大学 SFC 研究所ファブ地球社会コンソーシアム（代表：田中浩也、以下 SFC 研究所）と都築電気株式会社（代表取締役社長：江森勲、以下都築電気）は、「顔識別技術を利用した個体識別管理」についての実証実験を開始します。

3月5日（火）～8日（金）に東京ビッグサイトで開催される「リテールテック JAPAN」の都築電気ブースにてデモンストレーションを実施します。

【開催概要：「顔識別技術を利用した個体識別管理」についてのデモンストレーション】

日程 2019年3月5日（火）～8日（金）

場所 東京国際展示場「東京ビッグサイト」東1・2・3ホール

「リテールテック JAPAN」都築電気ブース

URL <https://messe.nikkei.co.jp/rt/i/>

1.研究の背景

経済産業省では、2017年に「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」を策定し、2025年までに全ての取扱商品に電子タグを貼り付け、個品管理の実現に向けたプロジェクトを推進しています。同プロジェクトに参加している三次仁（慶應義塾大学環境情報学部教授）と佐藤泰介（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教）の研究グループは、IoT(*1)を研究テーマの中心として、新たな仕組みの実現を目指しています。

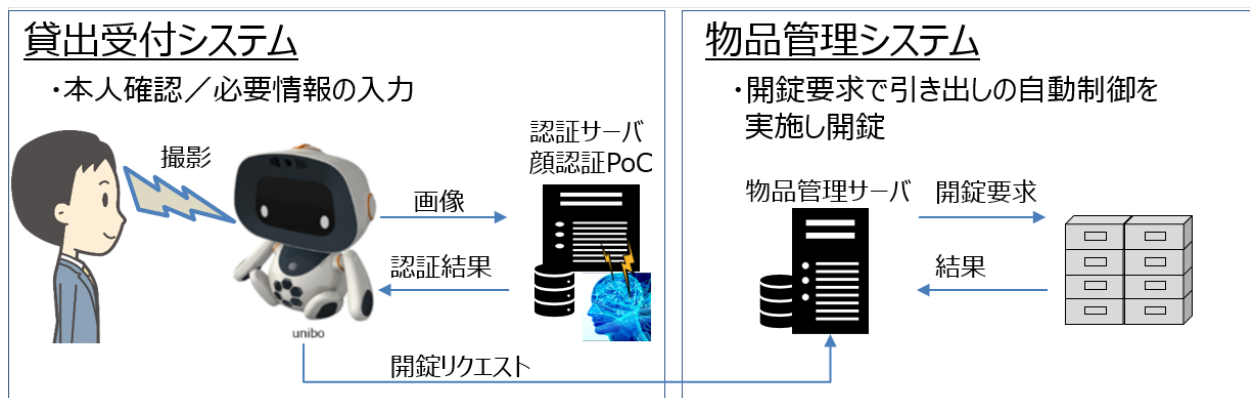
(*1)IoT (Internet of Things) とは、様々なモノがネットワークを通じて相互に情報交換を行う仕組みです。

2.実証実験の内容

SFC 研究所にて開発中のロボティクスを利用した「個体識別システム」と富士通株式会社の提供する unibo(*2)を使い、都築電気が PoC(*3)を実施している「顔認識技術」を連携させ、都築電気社内において IC カードの貸出および返却業務の自動化・無人化の実験を実施します。

(*2)unibo はユニロボット社の登録商標となります。

(*3)PoC (Proof of Concept) とは、新しい概念や理論、原理、アイデアの実証を目的とした検証やデモンストレーションです。



■都築電気について <https://www.tsuzuki.co.jp/>

都築電気株式会社は、1932年に創業。ネットワーク製品、ネットワークサービス、情報機器、ソフトウェアの「情報ネットワークソリューションサービス」と「電子デバイス」を2つの柱としています。「情報ネットワークソリューションサービス」では公共・金融をはじめ製造・流通・ヘルスケアの業種別体制で、企画、構築（設計・施工・開発）、運用サポートまで一貫した提案を行い、経営課題の解決をお手伝いします。

また、都築グループは「13社・2,475名、国内107拠点・海外3拠点」で約2万社のお客様をサポートしています。

■SFC 研究所について <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所であるSFC研究所は、21世紀の先端研究をリードする研究拠点として、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）における教育・研究活動と、産官学および国内外のあらゆる関連活動との双方向の協調関係を育みながら諸科学協調の立場から先端的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的としています。

※本プレスリリースは、新聞各社社会部等に配信しております。

【本件についてのお問合せ先】

都築電気株式会社 広報・IR室（平井・北浦・西田）
住 所：〒105-8665 東京都港区新橋 6-19-15 東京美術倶楽部ビル
T E L：03-6833-7780
E-Mail：pr@tsuzuki.co.jp

ファブ地球社会コンソーシアム
U R L：<https://coi.sfc.keio.ac.jp/conso/>
E-Mail：fabearth@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当
T E L：0466-49-3436
F A X：0466-49-3594
E-Mail：kri-pr@sfc.keio.ac.jp